

ボランティアセミナー



趣旨 青少年教育施設でのボランティア活動について目的や内容を理解するとともに、意欲を行動につなげる具体的な手立てを学び取ることで、ボランティア活動の実践力を身に付ける。

企画運営のポイント 当施設の即戦力となるよう、子どもたちへ実際に指導する場面（炊事、ベッドメイク等）を想定し、実習する機会を設けた。

期日：令和元年6月1日（土）～6月2日（日）

会場：国立日高青少年自然の家

対象：高校生、大学生、社会人など

人数：26名

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
【6/1(土)】	受付	開会式	講義 I	昼食	講義・演習 I	ボランティア活動の技術 (※夕食含む)	休憩	説明 I	講義 II	入浴	就寝準備・就寝			
	科目	ボランティア活動の意義	ボランティア活動の技術 (※夕食含む)									青少年教育施設におけるボランティア活動	青少年教育施設の現状と運営	
	講師	草野竹史氏	鈴木宏紀氏		自然の家職員	自然の家職員								

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
【6/2(日)】	朝会	朝食	宿舍点検	講義・演習 II		昼食	講義 III	説明 II	閉会式		
	科目		安全管理		青少年教育		法人ボランティア登録制度について				
	講師		日高西部消防組合		鈴木宏紀氏	自然の家職員					



先輩から学ぶ



人間関係づくり



AEDの扱いを学習



野外炊事の薪割り

【成果】

- ・継続ボランティアに昨年度のボランティア経験やボランティアミックスキャンプ参加の感想を発表してもらうことにより、ボランティア活動をとおした学びについて参加者に伝えられた。
- ・継続ボランティアには、体験発表の他にも、記録写真の撮影や参加者の誘導などの役割を担い、先輩ボランティアとしての参加によって、改めてボランティアの意義や事業を運営する方法を学ぶことができた。

【課題】

- ・セミナーで学んだボランティアが、今後も継続して日高青少年自然の家の事業に関わったり、積極的にボランティアとして参加したりするための仕組みや仕掛けを設けることが求められる。
- ・先輩ボランティアによるボランティア体験の発信や発表の機会等を設定し、ボランティアの成長を促すことが求められる。